# ロシア・トルコ景気概況 (2022年4-6月)

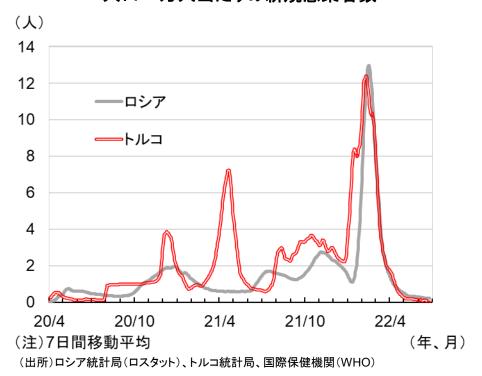
2022年7月1日 調査部 副主任研究員 土田陽介



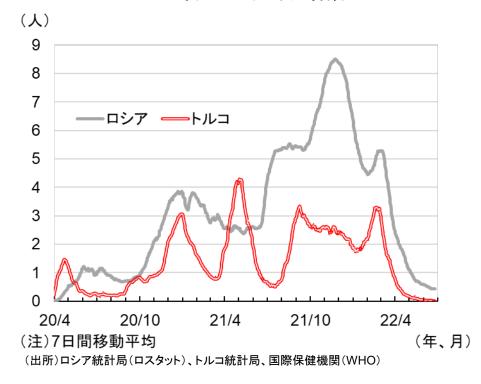
## 新型コロナウイルスの感染状況

ロシアとトルコともに、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いている。

#### 人口一万人当たりの新規感染者数



#### 人口百万人当たり死者数

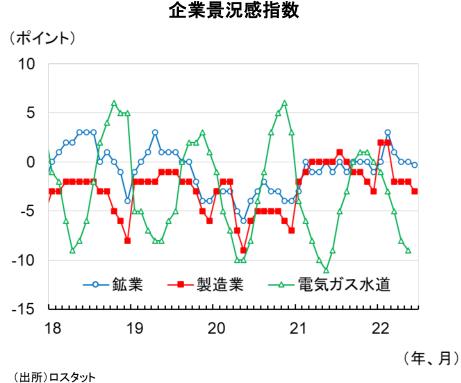




# ロシア景気概況① 景気は悪化している

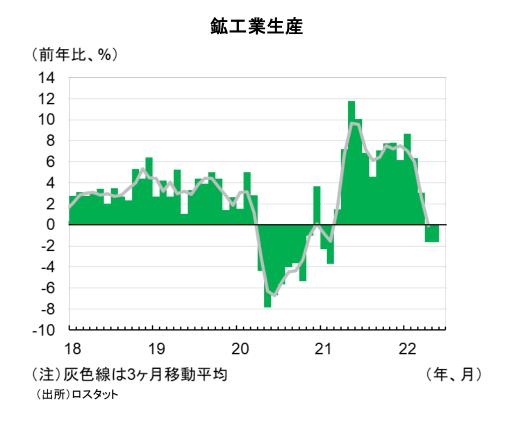
ロシアの1-3月期の実質GDPは前年比+3.5%と、前期(同+4.7)よりも成長が減速した。続く4月の月次実質GDPは前年比▲2.8%と2021年2月以来の前年割れに転じ、さらに5月は同▲4.3%と減少幅が拡大した。企業の景況感も主力の鉱業と製造業で悪化しており、ロシア景気は急速に悪化している。

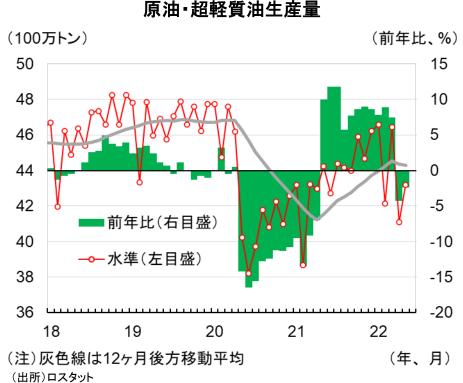




## ロシア景気概況② 生産は減少

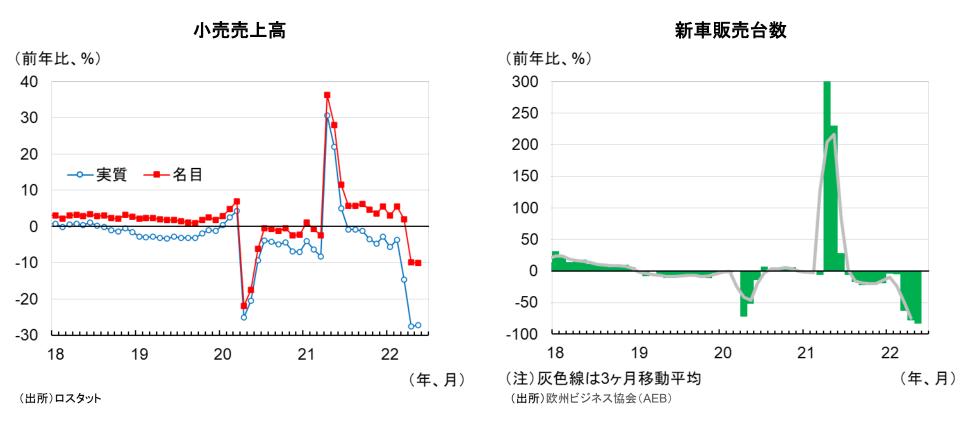
ロシアの5月の鉱工業生産は前年比▲1.6%と、2ヶ月連続で同じ減少幅になった。鉱業が前年比▲0.8%と前月(同 ▲1.6%)から減少幅を縮小させた一方、製造業が同▲3.2%と前月(同▲2.1%)から減少幅を拡大させた。欧米を中心とする国際社会による経済・金融制裁を受けて、ロシアの生産は急速に悪化している模様。





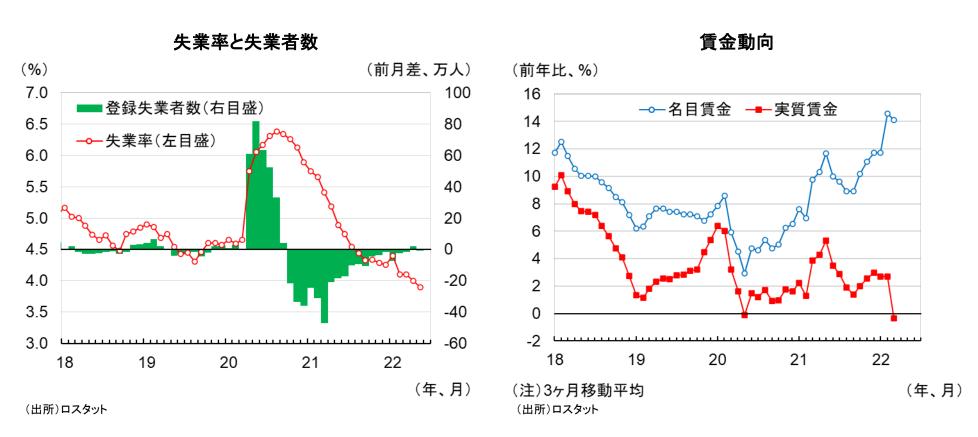
#### ロシア景気概況③ 消費は悪化

ロシアの5月の小売売上高は前年比▲10.1%と前月(同▲9.8%)よりも減少幅が拡大した。また消費者物価で割り引いた実質ベースでも同▲27.2%と前月(同▲27.6%)と同様に大幅な減少幅となった。他方で、5月の新車販売台数は前年比▲83.5%の2万4,268台にとどまった。前年の高い伸びの反動もあるが、ロシアの消費は急速に悪化している。



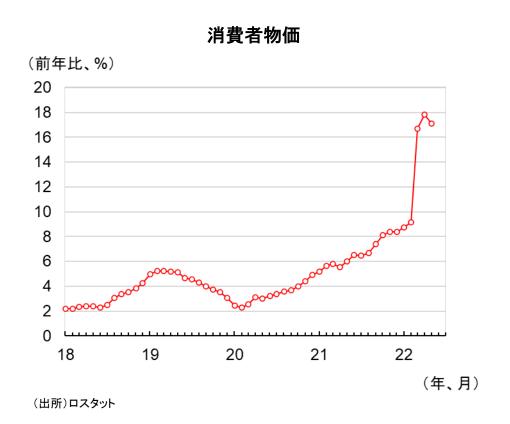
## ロシア景気概況④ 雇用は改善

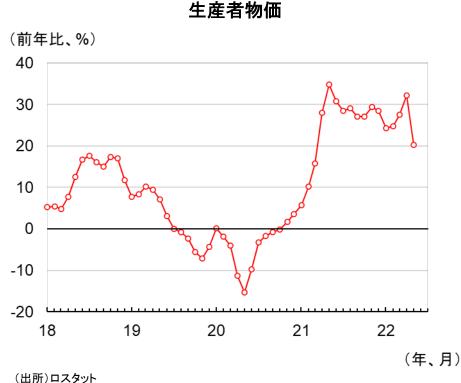
ロシアの5月の失業率は3.9%と前月(4.0%)から低下した。また同月の登録失業者数も前月比0.7万人減と、再び減少に転じた。賃金は名目ベースだと前年比10%台半ばの増勢に復したが、消費者物価でデフレートした実質ベースではインフレ加速の影響から前年割れに陥った。



# ロシア景気概況⑤ 物価はインフレが深刻

ロシアの5月の消費者物価は前年比+19.9%と、前月(同+20.4%)から伸びが鈍化したものの、インフレは深刻。一方、同月の生産者物価は同+20.3%と4ヶ月ぶりに伸びが鈍化した。





# ロシア景気概況⑥ ロシア中銀は利下げを進める

ロシア中銀はルーブル相場が急回復したこともあってインフレがピークアウトしたと判断、2月28日に20%まで引き上げ た政策金利を6月までに9.5%へと引き下げた。

#### 政策金利と消費者物価



(出所)ロシア中銀、ロスタット

#### 銀行の貸付残高



(出所)ロシア中銀



## ロシア景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

ロシアの4-6月期の長期金利は低下した。ロシア中銀と国民福祉基金による国債の購入、ロシア中銀による利下げなどが金利の低下につながった模様。一方で、ロシアの4-6月期の株価は上昇した。金融環境の安定や当局による介入措置(空売り規制)などが株価の回復につながった模様。

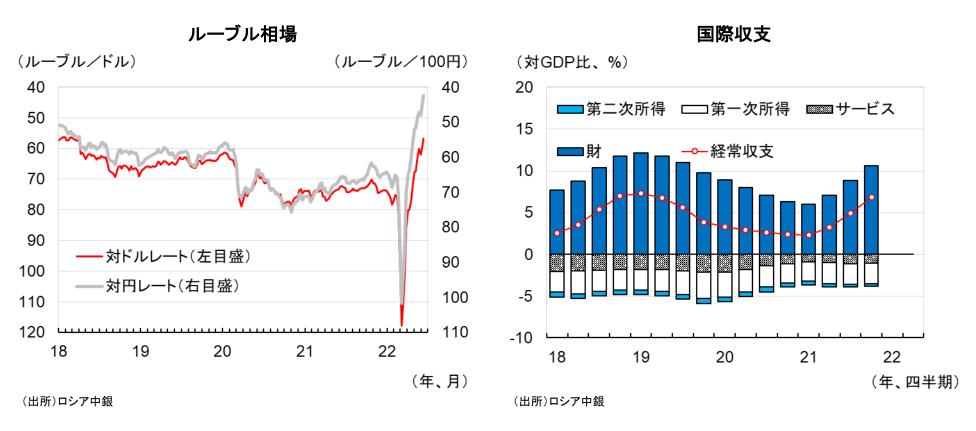
#### 10年国債流通利回り (年利、%) (年、月)



(出所)ロシア財務省

## ロシア景気概況⑧ 対ドル・対円とも急上昇

4-6月期のルーブル相場は対ドル・対円ともに急上昇した。薄商いの中で経済・金融制裁の対象から外れている大手行 (ガスプロムバンクやズベルバンク)がルーブル買いを行っていることが、相場の急回復につながっている模様。石油ガス の輸出が堅調な一方で、輸入が急減し、貿易黒字が積みあがっていると考えられることも、相場を支援か。



# トルコ景気概況① 景気は拡大している

トルコの1-3月期の実質GDPは前年比+7.3%と前期(+9.1%)よりも伸びが鈍化した。また1-3月期の企業の景況感は製造業が悪化した一方で、サービス業は回復した。製造業はロシアのウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱や燃料価格高騰の悪影響を受けた模様。一方でサービス業は、観光業を中心に景況が回復した模様。

#### 実質GDP (前年比、%) 25 20 15 10 5 0 -5 -10 -15 21 18 19 20 22 (年、四半期) (出所)トルコ統計局

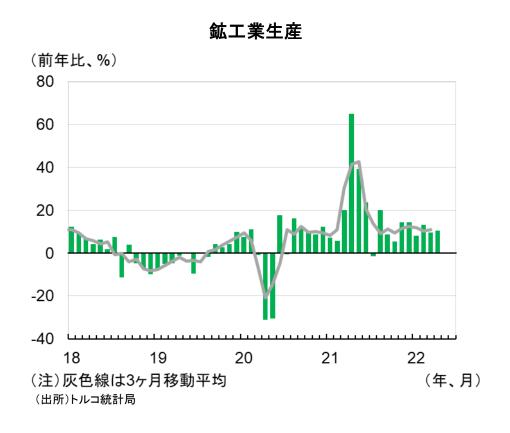
#### 企業景況感指数

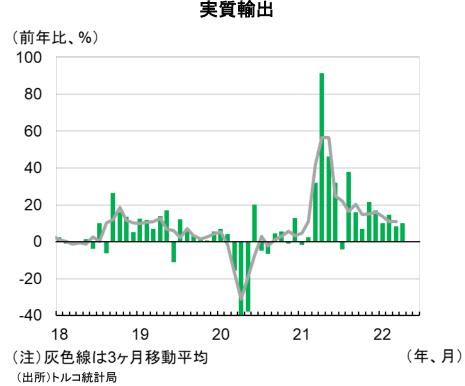


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

## トルコ景気概況② 生産は増加

トルコの4月の鉱工業生産は前年+10.5%と前月(同+9.7%)から伸びが加速、均した動きは前年比+10%程度の増勢が定着している。一方で4月の実質輸出も前年比+10.0%と前月(同+8.2%)から伸びが加速したが、増勢は鈍化基調で推移している。

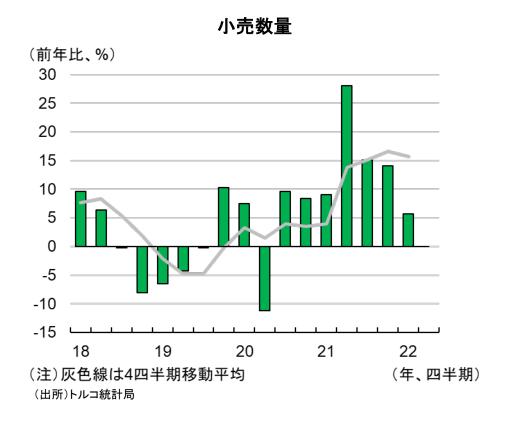


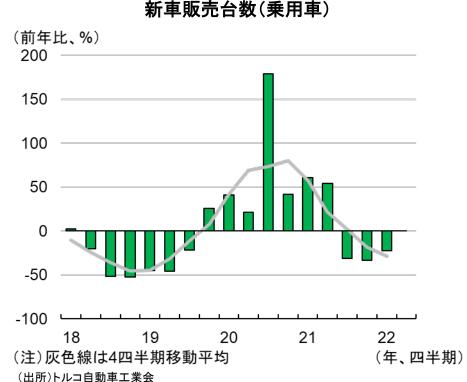




#### トルコ景気概況③ 消費は低迷

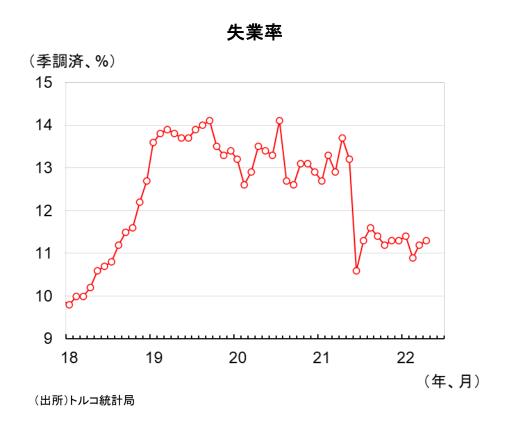
トルコの1-3月期の小売数量は前年比+5.7%と3四半期で伸びが鈍化。前年の高い伸びの反動に加えて、高インフレが 消費の重荷になった模様。一方で、同期の新車販売台数は同▲22.6%と前期(▲33.7%)から減少幅が縮小も、大幅な 前年割れが定着。半導体不足等の影響も新車市場の不調につながっている模様。





# トルコ景気概況④ 雇用は改善が停滞

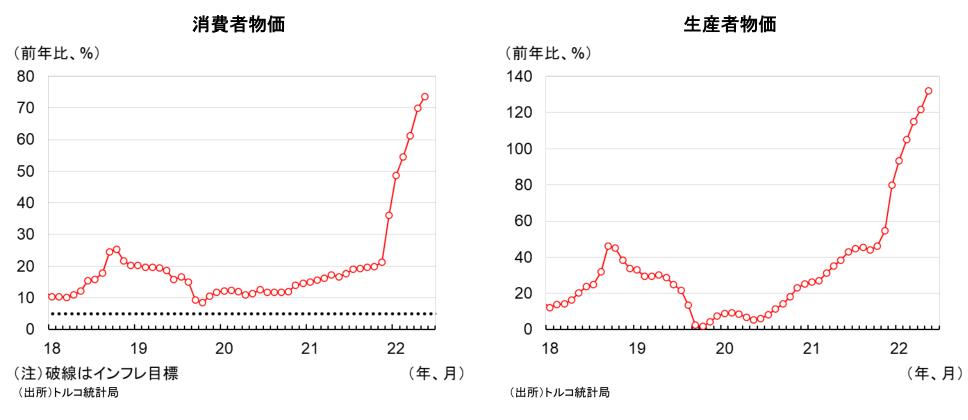
トルコの4月の失業率は11.3%と2ヶ月連続で上昇するなど、雇用情勢は改善が停滞。また1-3月期の賃金・給与指数は、名目ベースだと最低賃金引上げ(+50%)もあって増勢が加速したが、インフレの加速を受けて実質ベースでは増勢の鈍化が続いた。



賃金・給与指数 (前年比、%) 80 70 **─**─名目 **─**─実質 60 50 40 30 20 10 0 -10 -20 18 19 20 21 22 (注)灰色線は4四半期移動平均 (年、四半期) (出所)トルコ統計局

# トルコ景気概況⑤ 物価はインフレが加速

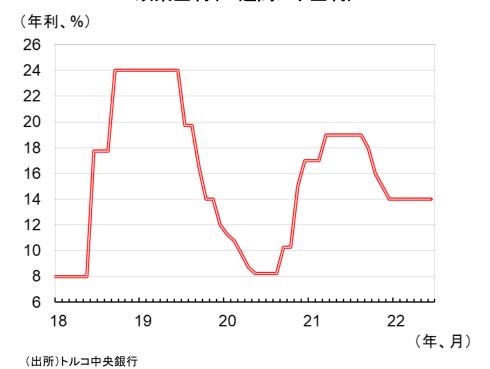
トルコの5月の消費者物価は前年比+73.5%と伸びが加速した。また同月の生産者物価も前年比+132.2%と、伸びが加速した。リラ安に加えて資源価格高騰などの影響が、インフレの急速な加速につながった。



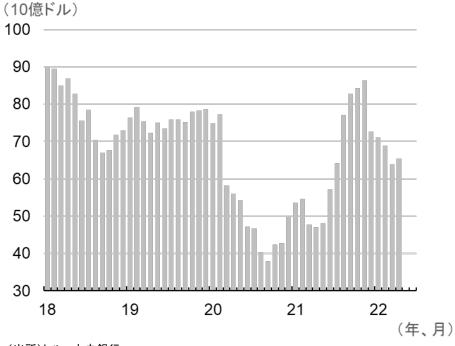
## トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は金利を据え置き

トルコ中央銀行は4-6月期、政策金利(一週間レポ金利)を年14.0%で据え置いた。この間、通貨リラは米国の利上げなどから下落が進んだ。外貨準備高はすう勢的に減少していることから、トルコ中銀は相場下支えのためのリラ買い介入を試みた模様。

#### 政策金利(一週間レポ金利)



#### 外貨準備高(除く金)





# トルコ景気概況⑦金利は低下、株価は上昇

4-6月期のトルコの長期金利は低下した。米国の長期金利の低下に連なってトルコの長期金利も低下した模様。一方で 株価は上昇した。ロシアによるウクライナ侵攻が相場の重荷となる反面で、リラ安が相場を押し上げた模様。

#### 10年国債流通利回り



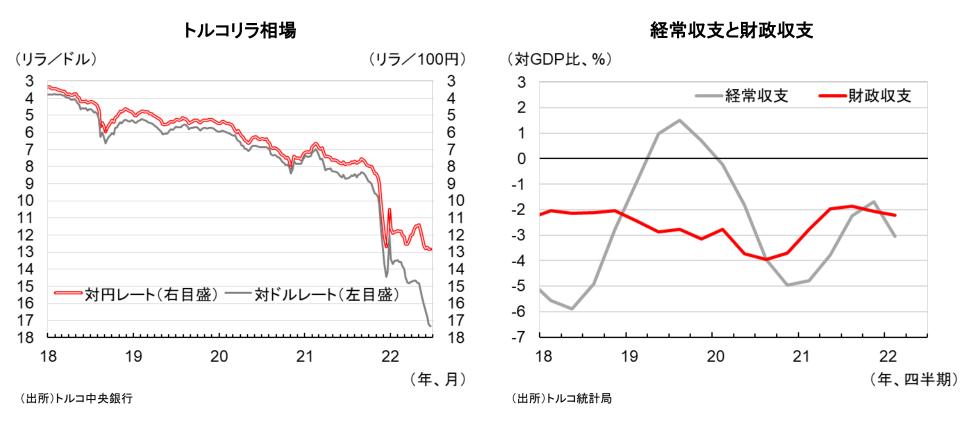
#### 株価(イスタンブール100指数)





## トルコ景気概況⑧ 対ドル、対円で下落

4-6月期のトルコリラ相場は対ドル、対円の両方で下落した。米国の利上げがドライバーになるかたちでリラの相場は下落した。経常収支は1-3月期に赤字幅が再び拡大、財収支赤字の拡大を受けたもの。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:<u>chosa-report@murc.jp</u> 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

- ご利用に際して -
- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください

